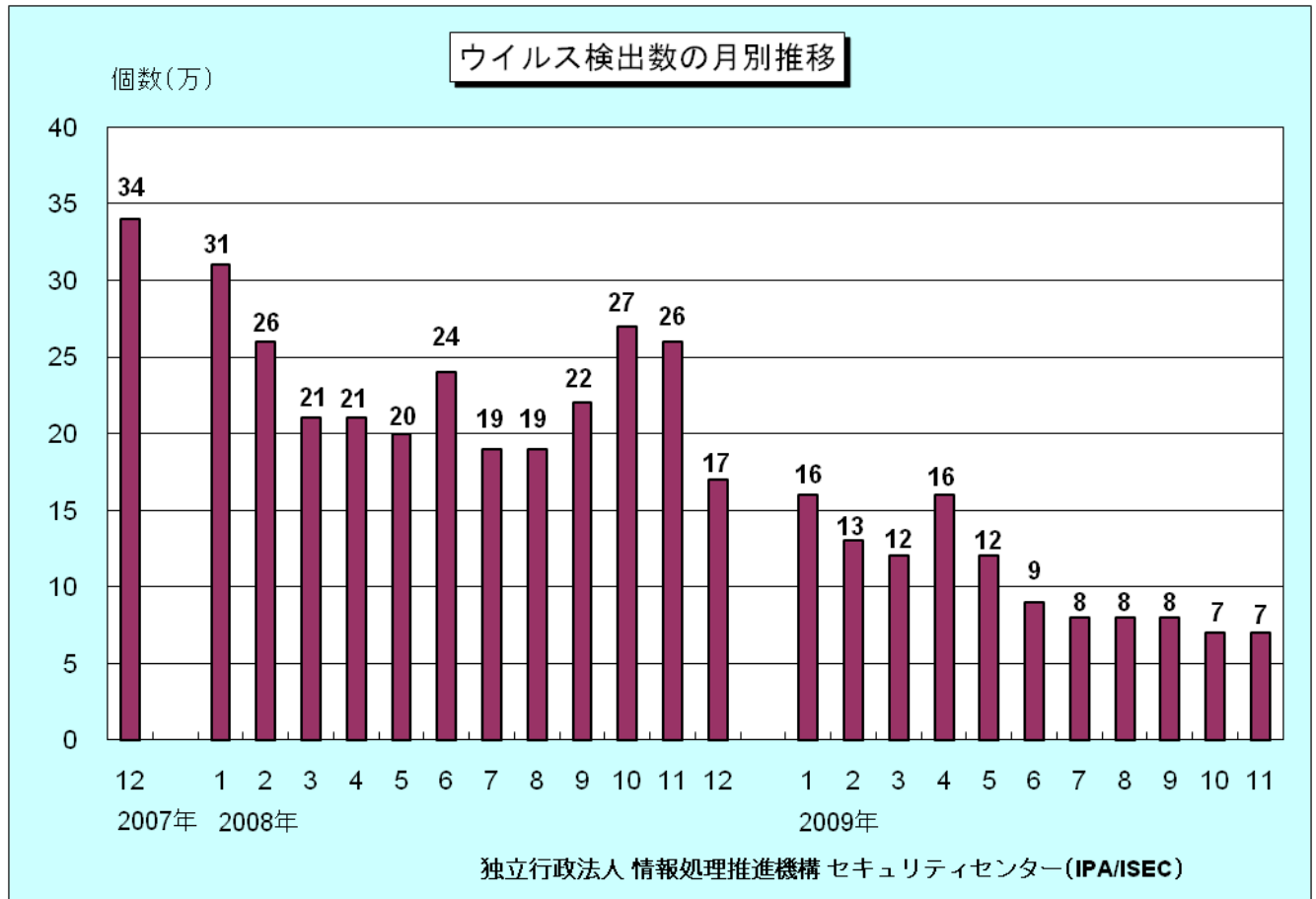
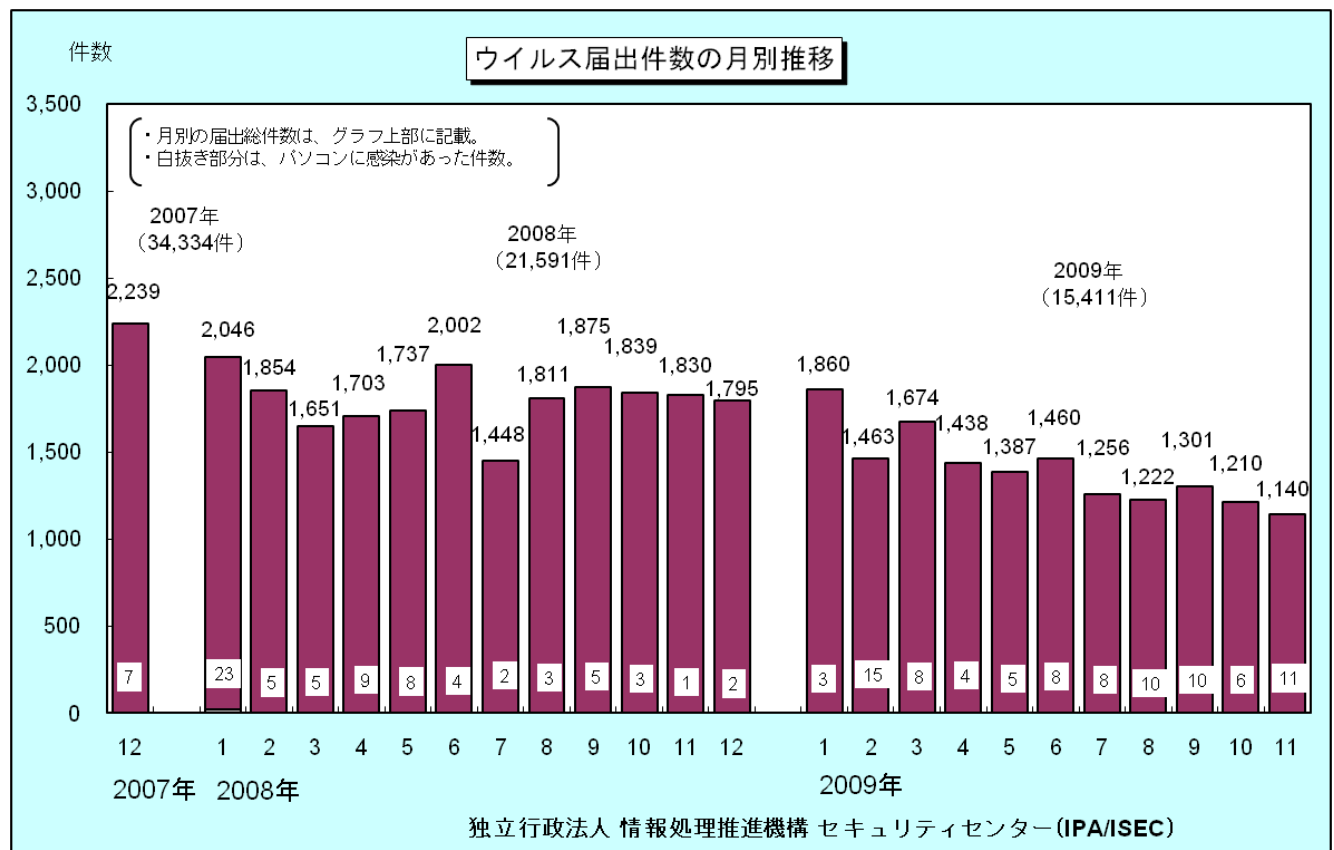


## コンピュータウイルスの届出状況 [2009年11月分] について

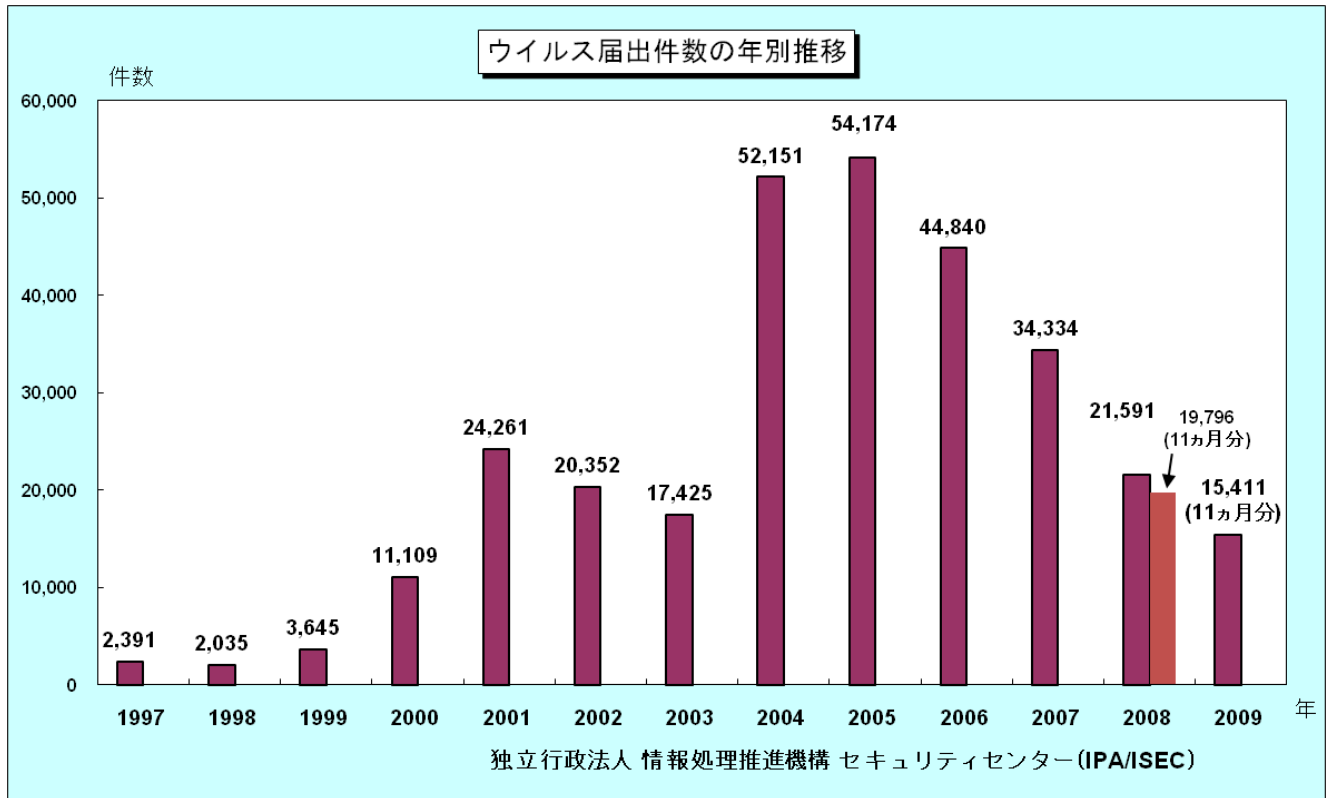
## 1. ウイルス検出数の月別推移



## 2. ウイルス届出件数の月別推移



### 3. ウイルス届出件数の年別推移



#### 4. 11月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 50 種類で、Windows/DOS ウィルス 1,128 件、スクリプトウイルス及びマクロウイルス 12 件でした。

i) Windows

(※)印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Netsky	294	VBS/Solow	8
W32/Mydoom	177	VBS/Redlof	1
W32/Autorun	119	VBS/SST	1
W32/Mytob	116		
W32/Virut	83	小計	10
W32/Klez	61		
W32/Bagle	52		
W32/Downad	44		
W32/Gammima	31		
W32/Sality	24		
W32/Lovgate	21		
W32/Mywife	18	マクロウイルス	届出件数
W32/Mimail	10	XF/Sic	1
W32/Bugbear	8	XM/Laroux	1
W32/Mumu	7		
W32/Bagz	6	小計	2
W32/Fakerecy	5		
W32/Zafi	5		
W32/Womble	4		
W32/Induc	3		
W32/Joydotto	3		
W32/Nuwar	3		
W32/Traxg	3		
W32/Waledac	3		
W32/Whybo	3		
W32/Antinny	2		
W32/Harakit	2		
W32/Kraze	2		
W32/Looked	2		
W32/Palevo	2		
W32/Allaple	1		
W32/Almanahe	1		
W32/Badtrans	1	ii) Macintosh	
W32/Dumaru	1	なし	
W32/Feeps	1		
W32/Fujacks	1	iii) OSS (OpenSourceSoftware) : Linux・BSD	
W32/Gaobot	1	を含む、UNIX	
W32/IRCbot	1	なし	
W32/Koobface (※)	1		
W32/Mabezat	1	iv) 携帯端末	
W32/Magistr	1	なし	
W32/Mota	1		
W32/Parite	1		
W32/Tenga	1	(参考)	
W32/Toal	1	・ Windows/DOS ウィルス	
小計	1,128	Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。	
		・ マクロウイルス	
		Microsoft Word や Microsoft Excel などのマクロ機能を悪用するウイルス。	
		・ スクリプトウイルス	
		機械語への変換作業を省略して実行できるようにした簡易プログラムで記述されたウイルス。	

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	Microsoft Excel95、97 (ExcelMacro の略)
WM	Microsoft Word95、97 (WordMacro の略)
W97M	Microsoft Word97 (Word97Macro の略)
X97M	Microsoft Excel97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
JS	JavaScript で記述
XF	Microsoft Excel95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)

## 5. 11月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

### (1) W32/Koobface (クーブフェイス)

このウイルスは、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を悪用して感染を拡大します。

感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成し、パソコン起動時に実行されるようにシステムを改変します。また、パソコン内から SNS 関連のデータを検索し、取得できた SNS のコンタクトリスト宛に、自身をダウンロードさせるためのリンクを記載したメッセージを送信します。

## 6. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約 93%を占めています。

届出者	届出件数					
	2009年11月		2009年10月(前月)		2008年11月(前年同月)	
一般法人ユーザ	1,061	93.1%	1,100	90.9%	1,723	94.2%
個人ユーザ	4	0.4%	4	0.3%	14	0.8%
教育機関	75	6.6%	106	8.8%	93	5.1%
合計	1,140		1,210		1,830	

## 7. 感染(発見)経路別件数

メールにより感染(発見)したケースが最も多く、届出件数の約95%を占めています。

感染(発見)経路	届出件数					
	2009年11月		2009年10月(前月)		2008年11月(前年同月)	
メール	1,080	94.7%	1,143	94.5%	1,816	99.2%
ダウンロード(※)	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
外部からの媒体	6	0.5%	5	0.4%	0	0.0%
ネットワーク	50	4.4%	60	5.0%	13	0.7%
不明・その他	4	0.4%	1	0.1%	1	0.1%
合計	1,140		1,210		1,830	

(※) ホームページからの感染を含む

## 8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2009年11月		2009年10月(前月)		2008年11月(前年同月)	
0台	1,129	99.0%	1,204	99.5%	1,829	99.9%
1台	10	0.9%	5	0.4%	0	0.0%
2台以上 5台未満	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
5台以上 10台未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
10台以上 20台未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20台以上 50台未満	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
50台以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,140		1,210		1,830	

### ・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であり、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

#### ○コンピュータウイルス対策基準

- ・通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

### ■お問い合わせ先

IPA セキュリティセンター 花村／加賀谷／大浦

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518

E-mail: [isec-info@ipa.go.jp](mailto:isec-info@ipa.go.jp)